

【85周年記念祝賀会 報告】

創立 85 周年記念祝賀会～短期大学合同同窓会～報告

副実行委員長 村上 晃司(短大 1 回生)

平成 24 年 9 月 22 日（土）、京都ホテルオークラにて「創立 85 周年記念祝賀会」及び「短期大学閉校式」が開催された。

大学教職員 20 名、専門学校卒業生 51 名、短大卒業生 173 名、来賓 15 名、総勢 259 名の参加となり盛大なパーティとなった。創立以来、卒業生 4000 人余りのなかで、これだけの参加者が一同に集うことは我が母校ならではのことでないだろうか。

開場前の受付にいと、短期大学合同同窓会ということもあり、久々の再会にこの時点でおおいに盛り上がっている姿が各所で見られた。

記念講演では山田先生より「京都医療技術短期大学の歩み」について講演して頂いた。久しぶりに教場での山田節を聴くことができ、学生時代の講義を思い出す者も多かったのではないだろうか。我々が知らなかった短大移行に伴う苦労話をユーモアまじりに話して頂いた。

その後、神澤会長、続いて遠藤学長より挨拶を頂き、台湾の姉妹校、元培科技大学 林学長の挨拶の後、短大 1 回生高橋氏による乾杯にて宴会が始まった。

しばらくの間、各テーブルにて懐かしい話しで盛り上がっていたが、久しぶりに再会した恩師・先輩・後輩の所へビール片手に席を離れる者があちらこちらで見られた。

ここで、花岡正男先生・高橋正治先生・高橋隆先生による歴代学長のスピーチを頂いた。花岡学長は短大開設当初のこと、高橋正治学長は 4 年生大学化への改組に向けて決意されたこと、高橋隆学長は実際に 4 年制大学完成を見届けたことを聴かせて頂いた。

会場に設置されたスクリーンには短期大学時代の入学式や体育大会、研修旅行などの懐かしい写真が映し出され宴会を盛り上げていた。

最後に、祝賀会および合同同窓会の実行委員長である西谷先生の挨拶により、まだまだ話しは尽きなかったが終宴となった。

その後は、おそらく回生ごとにわかれて 2 次会で盛り上がったのではないだろうか。私 1 回生においては 2 次会・3 次会と朝方まで学生当時のこと、仕事のこと、家庭のことなど語りあった。

「京都医療短期大学」は閉校され一抹の寂しさはあるが、4 年制大学の今後の活躍を期待し、卒業生一丸となり「京都医療科学大学」を応援し、学園 100 周年にむけて母校・学友会の益々の発展を祈念致します。冒頭の遠藤学長の言葉に「学園の財産は卒業生の皆さんです」とありましたが、その言葉を胸に今後も飛躍したいと思います。

末筆になりましたが、今回の祝賀会・閉校式の準備に尽力頂いた西谷先生をはじめ笠井先生、遠山先生、学校ならびに学友会の皆様、そして何よりも同級生の参加召集に協力頂いた各学年の幹事のみなさんにお礼を申し上げます。



以上

* 通巻 206 号 2013 年 1 月 10 日発行(H24-No.4)より